

元気・いきいき・のびのびプログラム

大田区は、今年7月に大田区緊急2か年計画「元気・いきいき・のびのびプログラム」を策定しました。

この緊急計画は、平成20年度末までに策定を予定している新たな基本構想と10か年の総合計画となる基本計画に先立ち、緊急に解決すべき課題や新たに検討を進めるべき施策について、より具体的な事業計画を策定したもので、対象事業は108事業となっています。今号では、この計画の中で教育委員会が所管する21事業のうち、おおたの教育4月1日号で紹介していない事業についてご案内します。

地域力を活かした魅力的なまちをつくりま

地域力を高める きっかけをつくりま

○学校・地域の連携活動の推進

地域の方々がおもつ知識や技術などを学校で活かしていただくために、学校支援ボランティアや学習サポーターの登録を拡大し、学校と地域の連携を推進します。

○（仮称）地域スクール事業の推進

区立小学校で実施している校庭等開放事業を進展させ、地域運営による体験活動や交流活動などを推進します。自治会・町会、青少年・体育指導委員、学校支援ボランティア、保護者などと連携し、平成21年度からモデル事業を開始します。

保護者が指導するピースストラップづくり



まちの魅力を発掘・発見・発信し、 観光のまち大田をめざしま

○（仮称）海苔資料館の整備

循環のまち、 みどりのまちをつくりま

○学校施設の緑化の推進

地球にやさしいまちづくりと環境教育の充実を図るために実施してきた屋上・壁面緑化に加え、平成19年度より校庭の芝生化を進めます。

御園中学校の屋上緑化



世界に誇る国際交流拠点の まちをめざしま

外国人にとって暮らしやすい 地域社会を実現しま

○教育の国際化の推進

在日外国人のお子さんや帰国児童・生徒などを対象に、日本語に適應するための日本語適應教室を設置します。

全ての区民が元気で暮らせる まちをつくりま

新たな教育課題に 積極的に取り組みま

○（仮称）新おおた教育推進プランの策定

教育基本法改正をはじめとする教育再編の動きに伴い、子どもたちを取り巻く状況は大きく変化しようとしています。新たな課題に即した教育施策を展開するために、現教育推進プランを見直し、新たな教育推進プランを策定します。

○小中一貫校の設置検討

大田区では、平成18年度から幼稚園・保育園・小中学校連携教育を実施し、入学時の円滑な接続を行い、学習成果の向上と生活指導の安定を図っています。その成果を踏まえ、小中連携教育をさらに推進するため、今年度から小中一貫校の教育効果・運営方法などの調査・研究を行います。

確かな学力を身につける 学校教育をすすま

○学力向上事業の充実

児童・生徒の学力を確実に定着・向上させていくため、授業改善リーダーを中心に教員の授業力の向上に取り組みま。また必要に応じて学習指導のための学習指導等講師と生活指導のための生活指導支援員を学校に派遣しま。

○体験活動の充実

職場体験…全中学2年生を対象に、平成18年度より2日以上で実施した職場体験事業を平成20年度には5日以上での体験に拡大しま。

自然体験…移動教室のあり方を検討するとともに、自然体験プログラムを策定し、移動教室の充実を図りま。

野辺山での酪農体験



社会体験…社会体験プログラムを策定し、小中学校におけるボランティア活動等の社会体験の充実を図りま。

○特別支援教育の実施

○習熟度別指導の充実

○おもしろ理科教室（理科特別支援員）

○学校図書充実と有効活用の推進

○小学校スクールカウンセラーの充実

生涯にわたる教育の 環境整備を進めま

○総合体育館の建設

築40年を経過し、老朽化した大田体育館を建替え、生涯スポーツの拠点として相応しい施設として整備しま。

○図書館インターネットサービスの導入

利用者がインターネットを利用して、図書館の蔵書検索や予約申込ができるよう、システムを導入しま。

図書館がより便利に身近になります



○校舎・屋内運動場等の改築・改修

○学校施設の整備

○生涯学習センターの開設

公共施設を活用し、生涯学習及び中高生の居場所の拠点となる施設を整備しま。

○図書館の改築・改修

活力に満ちた新しい区政を 実現しま

効率的・効果的な 区政運営を実現しま

○公共施設・学校施設整備計画の策定

今後、多くの公共施設・学校施設で老朽化による改築などの整備が必要となります。区民ニーズにあった施設機能や良好な教育環境を確保するために、合築・複合化を視野に入れた全体的な公共施設・学校施設の整備計画を策定しま。

おおたの 教育

大田区教育委員会広報

平成19年10月1日発行 第93号

編集発行：大田区教育委員会

〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目13番14号
TEL 5744-1111(代)

<http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

学校安全ボランティア

子どもたちが安心して暮らせるまちづくり

区立小中学校では、子どもたちの安全を守るためPTAや自治会・町会など、地域の方々による学校安全ボランティアの活動が盛んに行われています。子どもたちを守る学

校安全ボランティアの活動は、地域での不審者や犯罪の発生の抑止力となるとともに、同じ地域に暮らす方々の交流の輪を広げています。

子どもたちに関心をもって、
地域の一員として一緒に活動
をする

大森第二中学校PTA

「おはようございます。」大森第二中学校の校門に元気な声が響きます。大森第二中学校PTAでは、週3回、校門で朝のあいさつ運動を実施しています。あいさつ運動は、夜間パトロールや祭礼パトロールなどとともに、大人が子どもたちに関心をもち見守ろうと地域のみなさんと協力しながら平成14年度に開始しました。

また、子どもたちとともに地域の一員とし



保護者と生徒と一緒に朝のあいさつ運動

て、積極的にボランティア活動に取り組んでいます。その1つが生徒・PTA・地域・学区内の小学校3校の児童とともに行う地域清掃です。地域の一員として、地域の方々と一緒に、地域のために活動することは、PTAにとっても子どもたちにとっても大切なことであり、活動を通して、保護者・学校・地域の連携・コミュニケーションが強固なものになっています。

これらの活動を通して、子どもたちに思いやりをもって行動すること、安全とボランティアの精神などを育むとともに、地域の中で学校安全ボランティアの活動を根付かせています。

明るく・安全で・安心して
暮らせるまちをめざして

とういちボラパの会

ボラパとは、ボランティアパトロールの略です。「とういちボラパの会」は、近年増加している子どもに対する犯罪から「自分たちの子どもの安全は自分たちの手で守りたい」と平成15年度から東調布第一小学校PTAの有志が活動を始めました。当初は30名ほどだった会員も現在は150名に増え、地域や地元警察の協力を得ながら活動の輪も広がっています。



地域の方に見守られての下校

活動は週2～3回、学区を6つの班に分け、それぞれの班が子どもたちの下校時間に合わせ地域をパトロールしています。時間や曜日はそれぞれの班で相談して決めています。活動の曜日を不定期にすることにより、それぞれの都合に合わせて多くの会員の参加が可能となり、不審者等に対しても活動の曜日が特定されず犯罪の抑制につながっていることです。またパトロールを通じて地域や異学年の保護者同士の交流も深まっています。

「とういちボラパの会」のみなさんは、細く・長く・無理なく、楽しみながら活動を続け、明るく・安全で・みんなが安心して暮らせるまちにしたいと願っています。

おもしろ理科教室

科学や技術などへの関心を高める楽しい授業

教育委員会では、平成19年度より科学・技術分野を専門とし、理科教育に熱意のある方々に特別講師として、小学5・6年生の理科授業に入っただき、「おもしろ理科教室」を実施しています。特別講師による最先端技術の実

験の演示・体験活動などの実施、理科支援員による観察・実験などでの教員への支援を行うことにより、小学校理科教育の活性化および一層の授業の充実を図ることを目的としています。

オーロラってなあに!?

(特別講師) 東京工業大学 鈴木正昭教授

7月18日、大田区と教育や産業などで連携・協力を行うことを目的に基本協定を結んでいる東京工業大学の鈴木教授によるおもしろ理科教室が雪谷小学校にて開催され、5年生120名が参加しました。

「オーロラや稲妻、蛍光灯の灯りなども実はプラズマなのです。」との鈴木教授の説明に、子どもたちは興味津々で耳を傾けていました。実際に簡易装置を使用して、発生されるオレンジやピンク色のプラズマに、「どう



して光るの?」と子どもたち。鈴木教授は優しく丁寧に子どもたちに原理を説明します。説明を聞く子どもたちは、「すごい」「なるほど」と感嘆の声をあげ、目をきらきらと輝かせながら、真剣に話を聞いていました。

ものづくりのまち 大田を支える子どもたち

学校におけるものづくり活動への取り組みには、これまで多くの企業のご協力をいただき、様々な体験活動などをさせていただいています。おもしろ理科教室は、理科離れが進んでいるといわれる子どもたちに実験などを通して、理科のおもしろさを感じて科学や技術などに興味・関心を持ってもらい、将来の大田区のものづくりを支えていく人材に育てて欲しいという願いを込めた取り組みです。

現在、教育委員会では教員と協力して、子どもたちに実験・観察の機会を提供していただける大学・企業・研究機関などで科学技術の研究開発に関わっている方または経験のある方や科学技術に興味があり、教員の理科授業のサポートをしてくださる方を募集しています。

特別講師・理科支援員の登録募集

■特別講師

小学校5・6年生の理科授業において、教員と協力をして実際に実験・観察などを行っていただきます。

■理科支援員

小学校5・6年生の理科授業の際に、実験の準備・後片付けおよび授業での実験・観察の補助を行っていただきます。

登録方法など

「おもしろ理科教室」特別講師・理科支援員名簿に登録をいただきます。特別講師・理科支援員が必要な時に、その都度ご連絡させていただきます。

勤務場所

大田区内の区立小学校または館山さざなみ学校

その他

勤務条件などの詳細については、ホームページをご覧ください。担当までお問合せください。

[問合せ先] 指導室指導主事

電話 (5744)1435 F A X (5744)1535

HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/gakukyou>

区民の皆さんの持つ知識や技術、経験

温かい思いやりの心が子どもたちを育てます。

学校支援ボランティア

学校を地域で活性化 地域とともに子どもを育む

いま学校では、保護者や地域、そして企業の方々などがボランティアとして、子どもたちの健やかな成長のための支援を行ってくださっています。これらの活動は、長い年月をかけて、学校と地域のみなさんなどが築いてきたかかわりの成果です。

そして、さらに地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、学校教育の活性化を図るために、区全体として区民のみなさんの持つ知識や技術などの地域の教育力を登録していただき、学校に情報を提供するために学校支援ボランティアリストを作成しています。

学校支援ボランティアの登録制度

登録方法は……

社会教育課にある学校支援ボランティア申込書を提出してください。申込書はホームページからもダウンロードできます。原則として、無報酬、登録期間は2年です。

活動場所は……

区内の幼稚園・小中学校です。
学校支援ボランティアの活動を依頼する場合は、直接希望する学校から連絡があります。
※この事業は、学校などの必要に基づいて進められるため、必ず依頼があるとは限りません。

主な活動は……

教育活動支援

- 各教科・総合的な学習の時間の補助
- 体験活動の支援
英語活動／のり作り／凧作り／ゴムとび／おはじきなどの昔遊び／米作り・野菜作りなどの農業体験／お茶・お花・琴などの日本の伝統文化／読み聞かせ／手話／パソコン操作／音楽／調理実習／編み物など
- 体験談／講話など
- 学校生活での日常的な支援(個別対応)
- 学校行事の支援
運動会の手伝い／遠足の付添い／校外学習の付添いなど
- クラブ活動の支援
- 放課後の支援(個別指導)

環境整備支援

- 図書の整理
- 花壇・樹木の手入れ
- 清掃活動

学校安全支援

- 登下校時の通学路の巡回

夏季休業中のワクワクスクールの支援

- 得意分野での支援

学校週五日制に伴う

- 子どもの居場所づくりの支援
- 土曜スクールの補助

[問合せ先] 社会教育課社会教育担当

電話 (5744)1443 F A X (5744)1539

[HP] <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/shakyou>

学校を支えている様々な活動の紹介

千鳥小学校

千鳥小学校では、多くの地域の方に学校教育活動を支えていただいています。

おおきな木の会は読み聞かせ活動をはじめ7年目となる団体です。読み手、製作、本の修理を「できる人ができる時に」を合言葉に活動していただいています。火曜日の朝読書には全学年を順番に、木曜日の中休みには図書館で季節感や内容を大切に選んだ本の読み聞かせをさせていただきます。

年3回の「おはなし会」では、素ばなしや手作りのパネルシアターなどが行われ、子どもたちは巧みな話術とストーリーのおもしろさ、そして、魅力的な絵に、目を輝かせてお話を聞いています。



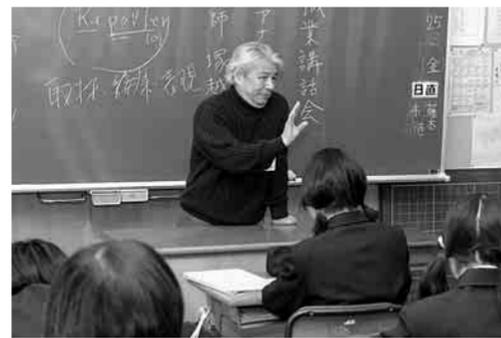
また、千鳥ファミリー二・六会は、活動をはじめ今年で16年目となる会員数20名の団体です。学校行事の力仕事を引き受けてくださったり、毎月第2土曜日にはペットボトル飛ばしやミニ運動会などのイベントを開催したりとさまざまな活動をしていただいています。毎月1回開かれる企画会議は、企画の内容によって、子どもたちの参加数が増えたり、減ったりするとあり、力が入ります。

「学校任せではなく、地域ぐるみで子どもの成長を考えていきたい」と会の創立者で現在も会員である元PTA会長の小堀進さん。団体の活動はすっかり定着して、毎回大勢の子どもたちが楽しそうに参加しています。



大森第三中学校

現在、中学校ではキャリア教育が重視されています。多くの学校で、1年生の時に身近な人の職業調べ、2年生で3日間の職場体験が行われています。大森第三中学校では、職場体験の前に、いろいろな職業について、また、働くということについて、学びを深めるために、「職業講話」を実施しています。



元アナウンサー、商社マン、看護師、電車の運転士、プラスチック成型加工業の経営者など様々な職種の方にご協力いただき、仕事についてお話しいただくとともに、生徒の質問にも答えていただいています。事前にお話を伺うことで、生徒の仕事についての考え方が深まり、職場体験が一層、意味のあるものとなっています。

また、社会教育課に登録された地域在住の司書資格をお持ちの方と保護者など4名の方に図書室の管理と図書整理などをお願いしています。交代で、12時45分から14時過ぎまで活動をしていただいています。図書室を開け、管理用のパソコンを立ち上げて、生徒が来るのを待ちます。



1学期には、新たに購入した1,000冊の図書を図書委員の生徒と一緒に、書棚に収めていただきました。地域の方や保護者の協力を得て、生徒にきちんと整理された図書と快適な学習環境を提供することができています。

肥満やぜん息、病虚弱、偏食で悩むお子さんや保護者の方へ

光る海 燃える夕日 自然の中で健康回復

四季を通じて温暖な気候に恵まれた館山の校外、澄んだ空気と豊かな自然の中で規則正しい生活を送り、健康回復や運動機能の向上などに取り組みませんか。

館山さざなみ学校



寄宿舎から望む房総の海

入学の対象者

- ① 大田区立の小学校に通学する3年生から6年生で次のいずれかに該当する児童
- ② 肥満の解消をめざしている児童
- ③ ぜん息の症状の改善をめざしている児童
- ④ 偏食を治そうとされている児童
- ⑤ 病虚弱の体質を改善しようとしている児童

豊かな自然の中で規則正しい生活

館山さざなみ学校は平砂浦の海を望む高台にある全寮制の特別支援学校です。肥満やぜん息、病虚弱、偏食の課題を抱えた子どもたちが寄宿舎生活をしながら、健康回復のために学習をしています。

学校では、児童の健康な体づくりのために、規則正しい生活、バランスのとれた食事、積極的な運動が大切であることを指導するとともに、児童一人ひとりに応じた健康管理や栄養指導により、健康の回復・増進を支援しています。

また、全寮制の集団生活を送ることにより、自主性を養い、実践的な生活習慣を身につけることを目指しています。

見学 館山さざなみ学校の

教育委員会では、年2回館山さざなみ



窓から雄大な海を望むことができる寄宿舎のフリースペース



▲明るい日差しが入る寄宿舎の食堂



▲バスケットボールコートもとれる体育館



▲最新のパソコンが並ぶ視聴覚室

館山さざなみ学校での学習活動

館山さざなみ学校では、区内の小学校と同じ教科書を使い、ALT(外国人による英語指導)やパソコンを使用したICT教育なども同じように行っています。学習する時間数も同じです。

また、館山の地域のみならず、近隣の小学校と合同での校外活動や農業体験なども行っています。

入学を希望する場合には

見学の結果、入学を希望する場合には、現在通学している学校へ申し出て、入学申込書を受け取り、提出してください。入学申込書をもとに、学務課にて保護者同伴で児童の面接を行い、入学を決定します。

なお、各区立小学校に館山さざなみ学校の学校案内があります。関心をもたれた方は、ぜひ一度ご覧ください。

〈問合せ先〉 学務課 学校運営係

電話 (5744) 1427
FAX (5744) 1535

館山さざなみ学校

電話 0470(28)1811
FAX 0470(28)1812

表彰(スポーツ・文化)

スポーツや文化などで次の児童・生徒のみさんが立派な成績をおさめ表彰されました。

「スポーツ部門」

- 第17回全日本ドッジボール選手権全国大会出場 入新井第四小学校ドッジボールクラブ
- 第37回日本少年野球連盟春季大会出場 大田シャークボーイズ
- 第21回全日本小学生男子ソフトボール大会出場 東六スターズ
- 第24回全日本小学生ソフトテニス選手権大会出場 志茂田小6年鈴木真伍・松野翔 蒲田小6年大羽諒祐 入新井第四小6年澤井治毅
- 第24回全国少年少女レスリング選手権大会優勝 北碓谷小4年佐藤拳(36kg級) 入新井第二小2年米澤凌(22kg級) 同3位 多摩川小2年稲葉海人(24kg級)

10月8日(月/祝) 区民スポーツまつり開催

スポーツの秋! 体育の日!

区民スポーツまつりで、気持ちのいい汗を流しませんか?

10月8日の体育の日に、第24回区民スポーツまつりを開催します。

会場は、大田区体育館・大森スポーツセンター・大田スタジアム・多摩川緑地・区立小中学校・民間スポーツ施設など区内30か所です。各会場では、区内のスポーツ団体の協力により、様々なスポーツやレクリエーションを楽しむことができます。この機会に、体力測定で自分



の健康状態をチェックしたり、いろいろなスポーツにチャレンジしたりしてみませんか?
会場やプログラムの詳細は、大田区報9月21号、区設掲示板などで案内するとともに、ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。ご家族そろってご参加ください。

〈問合せ先〉

大田区体育協会
電話 (3778) 8787
社会教育課事業係
電話 (5744) 1447

HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/event/sports>

教育委員及び教育委員長等の選任について

平成19年6月28日付けで教育委員長に渡邊盛雄委員、同職務代理者に高山美智子委員が選任されました。



渡邊 盛雄 教育委員長



高山 美智子 同職務代理者

教育委員会の主な議題

- 平成19年第5回定例会
- 平成19年第二次補正予算要求原案について
- 幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則
- 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

平成19年第6回定例会

大田区文化財保護審議会委員の委嘱について

平成19年第7回定例会

大田区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

教育委員会定例会の予定

平成19年10月から12月までの開催予定日は、次のとおりです。

- ◇日時 平成19年10月24日(水)
- 平成19年11月22日(木)
- 平成19年12月21日(金)

◇時間 いずれも午後2時から。

◇場所 本庁舎6階 教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望する方は、あらかじめ、左記までご連絡ください。

庶務係 電話 (5744) 1422